

別紙 1

提出日：2023 年 12 月 26 日
(1 回目)

病床機能に係る病院開設等計画書

■ 医療機関の概要

名称	医療法人中島病院
所在地	旭川市 4 条通 16 丁目 1152 番地
標榜科目	外科・胃腸科・整形外科・肛門科

■ 病床整備計画の概要

計画の種別	病床機能変更
病床機能	【変更前】 急性期（急性期一般入院料 4）49 床、慢性期（療養病棟入院料 1）50 床 【変更後】 回復期 49 床（地域包括ケア病棟入院料 2）、慢性期（療養病棟入院料 1）50 床
変更予定日	令和 6 年 4 月 1 日
【計画の内容】 令和 6 年 4 月より病床機能を変更し、新たに地域包括ケア病床の導入を予定している。導入に伴い、急性期 49 床をすべて回復期へ転換し、回復期 49 床・慢性期 50 床となる。 現在、当院は急性期と慢性期のケアミックス型の病院として運用しているが、近年高齢者の入院や機能回復を目的とした入院が増加している。今後、地域のニーズに合わせ急性期から在宅までの一貫した医療サービスを提供するために、地域包括ケア病棟への転換を予定している。 ※ 令和 6 年 1 月より急性期一般入院基本料から地域一般入院基本料へ届出の変更を行い、令和 6 年 4 月より地域包括ケア病棟入院基本料へ変更を予定。	

■ 地域医療構想の考え方を該当病床機能が必要と考える理由

上川中部圏域において、回復期病床の必要数は 1,613 床とされているが、2025 年の見込みは 923 床と大きな乖離が見られる。

病床機能分化・連携促進基盤整備事業費補助金 事業計画書

補助事業実施年度	R5	R6	R7	R8	※該当する年度に○をしてください。
----------	----	-----------	----	----	-------------------

※R6年度以降の内容については、記載できる範囲で記載してください。

※R6年度の補助申請を計画している場合については、期限まで必ず本計画書を提出してください。

期限まで提出がない場合はR6年度の補助対象とはなりませんので留意してください。

病院名	医療法人中島病院		
住所	旭川市4条通16丁目1152番地		
病床数	99床 【内訳：一般病床 49床、療養病床 50床、精神病床 床、感染症 床】		
担当部署	事務	電話	0166-24-1211
担当者職・氏名	事務次長 大澤史明	e-mail	nakajima@atlas.plala.or.jp

1 病床機能の転換計画（急性期⇒回復期、急性期⇒慢性期、慢性期⇒回復期）

(1) 急性期病床	49床のうち	49床を	回復期病床へ転換
[① 急性期一般入院基本料 4]			[① 地域包括ケア入院医療管理料 2]
(2) 急性期病床	床のうち	床を	慢性期病床へ転換
[①]			[①]
(3) 慢性期病床	床のうち	床を	回復期病床へ転換
[①]			[①]
※(1)～(3)はいずれかの事業実施、併用実施ともに可能です。			
※[①]内は算定する(予定)の入院基本料・特定入院料を記入して下さい。			
【例】(1) 急性期病床 100床のうち 15床を 回復期病床 へ転換			
[①急性期一般入院基本料 1] (総数) (転換数) [①回復期病棟入院料 2]			

2 病床のダウンサイズに伴う医療施設等への転換計画

(1) 一般病床	床のうち	床を整理し、()を整備
[①]		[②]
(2) 医療療養病床	床のうち	床を整理し、()を整備
[①]		[②]
※(1)、(2)のいずれかの事業実施、併用実施ともに可能です。		
※[①]内は現在算定している入院基本料・特定入院料を記入して下さい。		
※[②]内は、整備する医療施設等の施設種別などを記入して下さい。		
【例】(1) 一般病床 50床のうち 20床を整理し、(医療施設等)を整備		
[①急性期一般入院基本料 1] (総数) (転換数) [②訪問看護ステーション]		
(1) 一般病床 50床のうち 10床を整理し(機能訓練室)を整備		
[①急性期一般入院基本料 1] (総数) (転換数) [②]		
(2) 医療療養病床 100床のうち 15床を整理し、(医療施設等)を整備		
[①療養病棟入院基本料 1] (総数) (転換数) [②診療所]		

1、2ともに以下の病床機能の変動をご記入ください。

現在の病床機能(計画提出時)			転換後の病床機能				参考(※)	
病床機能	入院基本料 特定入院料	病床数	病床機能	入院基本料 特定入院料	病床数	備考	直近の圏域 の病床数	2025年 圏域 必要病床数
高度 急性期			高度 急性期					
急性期	急性期一般入院 基本料 4	49	急性期					
回復期			回復期	地域包括ケア入 院医療管理料 2	49			
慢性期	療養病棟入院 基本料 1	50	慢性期	療養病棟入院基 本料 1	50			
非稼働			非稼働					
計	-	99	計	-	99	-		

※各地域医療構想調整会議所管保健所記載(直近の圏域の病床数は、直近の病床機能報告の病床数を記載してください。)

3 建設工事について

実施の有無	<input type="checkbox"/> する <input checked="" type="checkbox"/> しない
事業種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改修
事業期間	着工：

※実施する場合、別紙様式2も併せて提出して下さい。

4 機器購入について

実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
事業実施時期	令和 6年 4月頃

※実施する場合、別紙様式3も併せて提出して下さい。

5 事業の必要性

<p>上川中部圏域において、回復期病床の必要数は1,613床とされているが、2025年の見込み923床と大きな乖離が見られる。</p> <p>当院は、急性期と慢性期のケアミックス型の病院として運用しているが、近年高齢者の入院や機能回復を目的とした入院も増加しており、この度一般急性期病棟の一部を地域包括ケア病床へ転換することを希望します。</p> <p>※地域・病院の現状や課題を踏まえた上で、病床機能の転換等を実施する必要性を記載して下さい。</p> <p>※急性期から慢性期への転換をする場合については、緩和ケアの強化等病床機能転換を実施する必要性を地域・病院の現状・課題を踏まえ、詳細に記載してください。</p>

6 その他

当該施設に係る過去の施設整備補助の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	補助年度	補助金額	補助面積	補助事業名
今回の整備に伴う財産処分の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無				

理学療法士等確保事業計画書

補助事業実施年度	(R5) (R6) R7 R8	※該当する年度に○をしてください。
----------	-----------------	-------------------

※R6年度以降の内容については、記載できる範囲で記載してください。

病院名	医療法人中島病院		
住 所	旭川市 4 条通 16 丁目 1152 番地		
病床数	99 床 【内訳：一般病床 49 床、療養病床 50 床、精神病床 0 床、感染症 0 床】		
連絡先	(担当者) [所属] 事務 (電 話) 0166-24-1211	[氏名] 大澤史明 (E-mai) nakajima@atlas.plala.or.jp	

1 病床転換計画

(1) 急性期病床 49 床のうち 49 床を 回復期病床 へ転換
 [急性期一般入院基本料 4] [地域包括ケア入院医療管理料 2]

(2) 病床転換時期 令和 6 年 4 月

2 理学療法士等雇用計画

病棟名	施設基準を満たすために必要な理学療法士等配置人数	新たに雇用が必要な理学療法士等人数	
[病棟名] 3 階一般急性期病棟 [基本入院料・特定入院料] 急性期一般入院基本料 4 地域包括ケア入院医療管理料 2	理学療法士 2 名	理学療法士	1 名
	作業療法士 1 名	作業療法士	1 名
	言語聴覚士 名	言語聴覚士	名
	計 3 名	計	2 名
理学療法士等新たに雇用する者 (補助対象者)	雇用期間 (雇用開始予定日)	雇用する者の人件費 (円)	
[職種] 理学療法士 作業療法士 [氏名] 未定 未定	令和 6 年 1 月 1 日 (予定) ~ 年 月 日	本俸(A)	未定
		職員手当等(B)	未定
		共済費(C)	未定
		計(D=A+B+C)	
		月単価(D/●)	
		上記●は、採用予定月～R6年3月までの月数を記載	

※「本俸(A)」：報酬、給料、賃金、報償費等、職員手当・共済費以外の給与本体の年額
 「職員手当等(B)」：期末勤勉、寒冷地、管理職、扶養、住居、通勤、医学研究、特殊勤務、時間外手当等の年額
 「共済費(事業主負担分)(C)」：健康保険、年金、労災、雇用保険等事業主負担分の年額